

性状 本品は黄褐色を呈し、弱いにおいがあり、味は苦い。

本品を鏡検するとき、黄褐色で表面視が多角形の表皮の破片、単細胞毛、らせん紋及び環紋道管、しばしばシュウ酸カルシウムの結晶を含む石細胞、黄色の色素、油滴及びシュウ酸カルシウムの集晶を含む薄膜柔組織の破片（花たく及び果皮の要素）、赤褐色の内容物を含む大形で厚膜化した種皮表皮の破片、アリューロン粒を充滿する内乳の破片（種子の要素）を認める。

確認試験

(1) 本品をデシケーター（シリカゲル）で 24 時間乾燥し、その 1.0 g に温湯 100 mL を加え、しばしば振り混ぜながら 60～70℃ で 30 分間加温し、冷後、ろ過する。ろ液 1.0 mL に水を加えて 10 mL とする。この液の色は黄色で、次の比較液よりうすくない。

比較液：ニクロム酸カリウム 2.0 mg を水に溶かし正確に 10 mL とする。

(2) 本品 1.0 g にメタノール 20 mL を加え、水浴上で 3 分間加温し、冷後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用ゲニポシド 1 mg をメタノール 1 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 5 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/メタノール混液（3：1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに 4-メトキシベンズアルデヒド・硫酸試液を均等に噴霧し、105℃ で 10 分間加熱するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標準溶液から得た暗紫色のスポットと色調及び R_f 値が等しい。

灰分 6.0 % 以下。

サンシュユ

Cornus Fruit

CORNI FRUCTUS

山茱萸

本品はサンシュユ *Cornus officinalis* Siebold et Zuccarini (*Cornaceae*) の偽果の果肉である。

性状 本品は偏圧された長だ円形を呈し、長さ 1.5～2 cm、幅約 1 cm である。外面は暗赤紫色～暗紫色でつやがあり、あらいしわがあり、真正果実を抜き取った裂け目がある。一端にがくの跡及び他端に果柄の跡がある。質は柔軟である。

本品は弱いにおいがあり、酸味があつて、わずかに甘い。

確認試験 本品の粗切 1.0 g にエタノール (95) 10 mL を加え、5 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。別に薄層クロマトグラフ用ロガニン 1 mg をエタノール (95) 2 mL に溶かし、標準溶液とする。これらの液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液及び標準溶液 10 μL ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/水/ギ酸混液（6：1：1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに 4-メトキシベンズアルデヒド・硫酸試液を均等に噴霧し、90℃ で 3 分間加熱するとき、試料溶液から得た数個のスポットのうち 1 個のスポットは、標

準溶液から得た赤紫色のスポットと色調及び R_f 値が等しい。

純度試験 異物 本品は果柄及びその他の異物 2.0 % 以上を含まない。

灰分 5.0 % 以下。

エキス含量 希エタノールエキス 35.0 % 以上。

サンショウ

Zanthoxylum Fruit

ZANTHOXYLI FRUCTUS

山椒

本品はサンショウ *Zanthoxylum piperitum* De Candolle (*Rutaceae*) の成熟した果皮で、果皮から分離した種子をできるだけ除いたものである。

性状 本品は二～三分果よりなるさく果で、各分果は偏球形を呈し二片に開裂し、各片の径は約 5 mm である。果皮の外面は暗黄赤色～暗赤褐色で、油室による多数のくぼんだ小点がある。内面は淡黄白色である。

本品は特異な芳香があり、味は辛く舌を麻ひする。

本品の横切片を鏡検するとき、外面表皮とこれに接する一細胞層中には赤褐色のタンニン質を含み、果皮には径約 500 μm に達する油室があり、ところどころにらせん紋道管を主とする維管束が点在し、内層は石細胞層からなり、内面表皮細胞は極めて小さい。

確認試験 本品を粉末とし、その 0.5 g に薄めたエタノール（7→10）100 mL を加え、密栓して 30 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 10 μL を薄層クロマトグラフ用シリカゲル（混合蛍光剤入り）を用いて調製した薄層板にスポットする。次に酢酸エチル/エタノール（95）/水混液（8：2：1）を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線（広域波長）を照射するとき、 R_f 値 0.7 付近に灰赤色～赤色を呈する 1 個のスポットを認める。

純度試験

(1) 種子 本品は種子 20.0 % 以上を含まない。

(2) 果柄及び枝 本品は果柄及び枝 5.0 % 以上を含まない。

(3) 異物 本品は種子、果柄及び枝以外の異物 1.0 % 以上を含まない。

灰分 6.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.5 % 以下。

精油含量 本品の粉末 30.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 1.0 mL 以上である。

サンショウ末

Powdered Zanthoxylum Fruit

ZANTHOXYLI FRUCTUS PULVERATUS

山椒末

本品は「サンショウ」を粉末としたものである。

性状 本品は暗黄褐色を呈し、強い特異な芳香があり、味は辛く舌を麻ひする。

本品を鏡検するとき、厚さ約 2.5 μm の膜を持つ石細胞からなる果皮内層の組織の破片、径 10 ~ 15 μm のらせん紋及び環紋道管の破片、精油又は樹脂を含む油室の破片、表面視が多角形でタンニン質を含む表皮細胞の破片、多数の油滴、バニリン・塩酸試液で赤色を呈するタンニン質の塊を認める。

確認試験 本品 0.5 g に薄めたエタノール (7 → 10) 100 mL を加え、密栓して 30 分間振り混ぜた後、ろ過し、ろ液を試料溶液とする。この液につき、薄層クロマトグラフ法により試験を行う。試料溶液 10 μL を薄層クロマトグラフ用シリカゲル (混合蛍光剤入り) を用いて調製した薄層板にスポットする。次にクロロホルム/メタノール/水混液 (30 : 10 : 1) を展開溶媒として約 10 cm 展開した後、薄層板を風乾する。これに紫外線 (広域波長) を照射するとき、 R_f 値 0.85 付近に灰赤色～赤色を呈する 1 個のスポットを認める。

灰分 6.0 % 以下。

酸不溶性灰分 1.5 % 以下。

精油含量 本品 30.0 g をとり、精油定量法により試験を行うとき、その量は 0.8 mL 以上である。

貯法 容器 気密容器。

サンヤク

Dioscorea Rhizome

DIOSCOREAE RHIZOMA

山薬

本品はヤマノイモ *Dioscorea japonica* Thunberg 又はナガイモ *Dioscorea batatas* Decaisne (*Dioscoreaceae*) の周皮を除いた根茎 (担根体) である。

性状 本品は円柱形～不整円柱形を呈し、長さ 5 ~ 15 cm、径 1 ~ 4 cm、ときには縦割又は横切したものである。外面は類白色～帯黄白色で、折面は類白色を呈し、平らで粉性である。質は堅いが、折りやすい。

本品はほとんどにおい及び味がない。

確認試験

(1) 本品の切面に希ヨウ素試液を滴加するとき、暗青色を呈する。

(2) 本品の粉末 0.2 g に無水酢酸 2 mL を加え、水浴上で 2 分間加温した後、ろ過する。ろ液 1 mL に硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤褐色～紫褐色を呈する。

乾燥減量 14.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 6.0 % 以下。

酸不溶性灰分 0.5 % 以下。

サンヤク末

Powdered Dioscorea Rhizome

DIOSCOREAE RHIZOMA PULVERATUM

山薬末

本品は「サンヤク」を粉末にしたものである。

性状 本品は帯黄白色～白色を呈し、ほとんどにおい及び味がない。

本品を鏡検するとき、主としてでんぷん粒とこれを含む柔組織片、シュウ酸カルシウムの長さ 100 ~ 200 μm の束針晶とこれを含む粘液細胞、環紋道管及び階紋道管を認める。道管の径は 15 ~ 35 μm である。でんぷん粒は長だ円形～球形の単粒で、長径 18 ~ 35 μm 、へそ及び層紋を認めるがやや不鮮明である。

確認試験 本品 0.2 g に無水酢酸 2 mL を加え、水浴上で 2 分間加温した後、ろ過する。ろ液 1 mL に硫酸 0.5 mL を穏やかに加えるとき、境界面は赤褐色～紫褐色を呈する。

乾燥減量 14.0 % 以下 (6 時間)。

灰分 6.0 % 以下。

酸不溶性灰分 0.5 % 以下。

貯法 容器 気密容器。

ジアスターゼ

Diastase

本品は主として麦芽から製したもので、でんぷん消化力がある酵素剤であり、定量するとき、1 g 当たり 440 でんぷん糖化力単位以上を含む。通例、適当な賦形剤で薄めてある。

性状 本品は淡黄色～淡褐色の粉末である。

本品は吸湿性である。

純度試験 変敗 本品は不快な又は変敗したにおい及び味がない。

乾燥減量 4.0 % 以下 (1 g, 105 °C, 5 時間)。

定量法

(1) 基質溶液 でんぷん消化力試験用バレイショデンプン試液を用いる。

(2) 試料溶液 本品約 0.1 g を精密に量り、水を加えて溶かし、正確に 100 mL とする。

(3) 操作法 消化力試験法 (1) でんぷん消化力試験法 (i) でんぷん糖化力測定法により操作する。

貯法

保存条件 30 °C 以下で保存する。

容器 気密容器。

ジアスターゼ・重曹散

Diastase and Sodium Bicarbonate Powder

製法

ジアスターゼ	200 g
炭酸水素ナトリウム	300 g
沈降炭酸カルシウム	400 g
酸化マグネシウム	100 g
全量	1000 g

以上をとり、散剤の製法により用時製する。

性状 本品は淡黄色で、特異な塩味がある。

貯法 容器 密閉容器。